

第403回 番組審議会

1. 日 時 平成 17 年 10 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分 ~
2. 開催場所 テレビ岩手 6 階大会議室
3. 委員総数 14 名
出席委員 12 名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	堀内 三郎
	委員	山本 玲子
	委員	和田 利彦
	委員	高橋 三男
	委員	久郷 和美
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二
	委員	増川 博之

欠席委員	委員	梅村 俊男
	委員	西郷 喜代子

社側出席者	松本 齊 (取締役副社長)
	新沼 栄喜 (専務取締役) 営業・編成担当
	石井 修平 (専務取締役) ｽﾚｯﾄﾞ ｲﾝﾌｫﾐﾈｰｼｮﾝ 戦略・広報・番組審議会担当
	阿部 孝夫 (常務取締役) 報道・制作・事業担当
	高橋 甫和 (取締役技術局長) 技術担当
	村田 憲正 (役員待遇報道局長)
	淵沢 行則 (制作局長)
	及川 昇 (事業局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)
	菊池 健 (報道局報道部主任)

事務局	青山 尚之 (編成局長)	番組審議会事務局長
	八重樫雅弘 (編成局編成部主任)	

4. 議 題

1. 「さらば酒の日々 ジャズ本田竹広の挑戦」

平成 17 年 10 月 2 日 (日) 午後 2 時 55 分 ~ 3 時 25 分 放送

2. その他ご覧になった番組についてのご意

5. 審議内容

別紙のとおり

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成 17 年 10 月 25 日(火)午前 11 時 50 分 ~ 11 時 57 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

8. その他の参考資料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見
- ・ 委員名簿

議事の内容

事務局 定刻になりましたので審議会を始めます。きょうは、まず、きょうは、読売新聞の増川支局長に委嘱状を交付いたします。

～ 委嘱状の交付～

委員 増川でございます。どうぞ宜しくお願いします。

委員長 今日の議題は10月2日放送の「さらば酒の日々 ジャズ本田竹広の挑戦」です。それでは宜しくお願いします。

委員 私は本田氏の事は知りませんでした。本田氏のジャズピアニストの姿を伝えて欲しかった。また、本田氏と宮古との繋がりをもっと示して欲しかった。

委員 私も本田氏を知りませんでした。岩手出身である部分の説明が欲しかった。指先にバンドエイドを巻いて演奏していましたが、指先が割れている事が想像出来ました。その点を説明すると、ピアニストの命の指先が割れてまで演奏している彼の姿がもっと伝わると思います。

委員 深く本田氏の事は知りませんが、興味深いテーマでした。しかし、番組の時間が短く、ナレーションでの説明が多すぎます。身近な人の声を取り上げて構成して欲しかったです。

委員 興味深いテーマではありましたがタイトルと内容がかみ合っていないと感じました。また、構成の時間軸にわかりにくい点がありました。

委員 かつての本田ファンとして楽しみにして拝見し、懐かしさと寂しさを感じました。左半身麻痺という症状であそこまでピアノに向き合い弾けるようになったのには驚きを感じた。その点を取材して欲しかった。全国でも放送するよう希望します。

委員 最初から落ち着いたトーンで進んでいき、良いシーンが続いていたのだけれど、人工透析の部分から暗く進んでいったのは残念。ナレーションでは強い言葉で訴えているのだけれど映像が暗い部分が強調されている点が気がかった。

委員 この番組は、本田氏のことを皆さんが知っているという前提で作られていると感じました。知らない人もいるという前提で番組を作ると感動も深まると感じました。

委員 本田氏にご家族がいると知りませんでした。番組が進むに連れご家族がいると知りました。なぜ、家族・家を取材しなかったかお聞きしたい。番組のタイトルが重く、内容ともそぐわないと感じました。

委員 本田氏に対し、ファンであるかそうでないかで受けとめ方が大きく異なる番組だと思いました。取材対象者に深く入り込めないとドキュメントは制作できないと思いますが、その点では取材対象者から深く信頼されているのだと感じました。

委員 整理して番組を見ましたが、自分で成果というかそういったものとは別に、生き

ていくための場作りに取り組んでいる人であると思います。人間ドキュメントとして考えると、いろいろ考える事がある番組であると思いました。

委員 相対的に高い評価が出来る番組だとは思いましたが、様々な意見がでたという事は、色々な捉え方が出来る番組であると思います。制作意図、取材過程などについてお聞きしたいと思います。

社側 数年前、県立病院でのコンサートから取材を始めました。本田氏は東京にお一人でお住まいで、お宅方にも取材にお邪魔したかったのですが叶いませんでした。単純なサクセスストーリーではなく、様々な見方はあるでしょうが、60才になっても新しい事に挑戦する姿を感じて欲しいです。

委員 他になにかありますでしょうか。では、事務局にお返しします。

事務局 以上で番組審議会を終了いたします。